第十四条　効力発生

1　この条約は、三番目の批准書、受諾書、承認書又は加入書の寄託の後六箇月で効力を生ずる。

2　いずれかの国が、三番目の批准書、受諾書、承認書又は加入書の寄託の後に、この条約を批准し、受諾し、若しくは承認し、又はこれに加入する場合には、この条約は、当該国の批准書、受諾書、承認書又は加入書が寄託された日の後六箇月で当該国について効力を生ずる。この条約は、前条の規定に従ってこの条約が適用される地域については、同条に規定する宣言の通告の後六箇月で効力を生ずる。

第十五条　改正

1　いずれの締約国も、改正案を国際連合事務総長に提出することにより、この条約の改正を提案することができる。同事務総長は、締約国に対して改正案を直ちに送付するものとし、当該改正案についての審議及び投票のための締約国会議の開催についての賛否を同事務総長に示すよう要請する。その送付の日から四箇月以内に締約国の三分の一以上が会議の開催に賛成する場合には、同事務総長は、国際連合の主催の下に会議を招集する。

2　締約国会議は、各改正案につき、コンセンサス方式により合意に達するようあらゆる努力を払う。コンセンサスのためのあらゆる努力にもかかわらず合意に達しない場合には、改正案は、その採択のため、最後の解決手段として、締約国会議の会合に出席し、かつ、投票する締約国の三分の二以上の多数による議決を必要とする。

3　採択された改正は、寄託者が全ての締約国に対し批准、受諾又は承認のために送付する。

4　採択された改正は、三番目の批准書、受諾書又は承認書が寄託された日の後六箇月で効力を生ずる。改正は、効力を生じたときは、当該改正に拘束されることについての同意を表明した締約国を拘束する。

5　いずれかの締約国が、三番目の批准書、受諾書又は承認書の寄託の後に、改正を批准し、受諾し、又は承認する場合には、当該改正は、当該締約国の批准書、受諾書又は承認書が寄託された日の後六箇月で当該締約国について効力を生ずる。

第十六条　廃棄

1　締約国は、寄託者に宛てた書面による正式の通告により、この条約を廃棄することができる。廃棄を行う締約国の法制が不統一のものである場合には、廃棄は、この条約が適用される当該締約国の領域内の地域のうち特定のものに限定して行うことができる。

2　廃棄は、寄託者がその通告を受領した後十二箇月で効力を生ずる。当該通告において廃棄の効力発生につき一層長い期間が指定されている場合には、廃棄は、寄託者が当該通告を受領した後その一層長い期間が満了した時に効力を生ずる。この条約は、廃棄が効力を生ずる前に締結された和解合意については、引き続き適用する。

ひとしく正文であるアラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語により原本一通を作成した。

法務大臣　小泉　龍司
外務大臣　上川　陽子
内閣総理大臣　岸田　文雄

（右条約の英文）

UNITED NATIONS CONVENTION ON INTERNATIONAL SETTLEMENT AGREEMENTS RESULTING FROM MEDIATION

Preamble

The Parties to this Convention,

Recognizing the value for international trade of mediation as a method for settling commercial disputes in which the parties in dispute request a third person or persons to assist them in their attempt to settle the dispute amicably,

Noting that mediation is increasingly used in international and domestic commercial practice as an alternative to litigation,

Considering that the use of mediation results in significant benefits, such as reducing the instances where a dispute leads to the termination of a commercial relationship, facilitating the administration of international transactions by commercial parties and producing savings in the administration of justice by States,

Convinced that the establishment of a framework for international settlement agreements resulting from mediation that is acceptable to States with different legal, social and economic systems would contribute to the development of harmonious international economic relations,

Have agreed as follows:

Article 1
Scope of application

1. This Convention applies to an agreement resulting from mediation and concluded in writing by parties to resolve a commercial dispute ("settlement agreement") which, at the time of its conclusion, is international in that:

(a) At least two parties to the settlement agreement have their places of business in different States; or

(b) The State in which the parties to the settlement agreement have their places of business is different from either:

(i) The State in which a substantial part of the obligations under the settlement agreement is performed; or

(ii) The State with which the subject matter of the settlement agreement is most closely connected.